

## 龍谷大学 革新的材料・プロセス研究センター2025 年度シンポジウム

### カーボンニュートラル社会の実現に向けた革新的材料・プロセス研究

- 日時：2026 年 2 月 27 日 (金) 10:00～18:00 (場合により時間変更もあります)
- 会場：龍谷大学瀬田学舎 REC ホール 1F 小ホール・地下談話スペース
- 招待講演

「情報と計測の融合による半導体デバイス 3 次元実装技術の革新」

熊本大学 工学部 准教授 橋新 剛 氏

- 一般講演／ポスター発表

◆ 参加費は無料ですが、事前申し込みが必要です。詳細については、直前のご案内でご確認ください。

#### <申込方法> メール受付

- ・ 申込先：龍谷大学 革新的材料・プロセス研究センター事務局  
櫻井 宛：E-mail：IMPreC@ad.ryukoku.ac.jp
  - ・ 申込期限：2026 年 2 月 20 日 (金)
  - ・ 記載項目：ご所属機関名、ご住所、電話番号、メールアドレス、参加者ご所属、氏名、
- ◆ 詳細は開催日 3 日前 (2/24) に記載されたメールアドレスにお送りいたします。  
2/25 までに連絡がない場合は、お手数ですが事務局にお問い合わせください。
- ◆ プログラム変更など詳細は革新的材料・プロセス研究センターの HP をご確認ください。  
<https://impres.ryukoku.ac.jp/>

#### <大学アクセス>

JR 琵琶湖線瀬田駅より 帝産バス「龍谷大学行」または「龍谷大学経由医大行」  
「龍谷大学」下車(約 10 分)

主催：龍谷大学 革新的材料・プロセス研究センター

<お問い合わせ先>

龍谷大学 研究部 (瀬田)／革新的材料・プロセス研究センター事務局 櫻井

TEL：077-543-7746 E-mail：IMPreC@ad.ryukoku.ac.jp

<一般講演プログラム>

	タイトル		氏名
10:00 ～ 10:10	開会の挨拶・プロジェクトの概要	革新的材料・プロセス研究センター センター長	河内 岳大
	一般講演 （ 座長 富崎 欣也 ）		
10:10 ～ 10:25	薄膜メムデバイスとニューロモフィックシステムへの応用	客員研究員	河西 秀典
10:25 ～ 10:40	ウルトラファインバブルの性質と、その食品加工への応用について	兼任研究員	山崎 正幸
10:40 ～ 10:55	ラセン構造を付与したポリメタクリル酸メチルとの包接錯体形成によるコロネンの発光特性制御	兼任研究員	河内 岳大
10:55 ～ 11:05	休憩		
	一般講演 （ 座長 河内 岳大 ）		
11:05 ～ 11:20	クロロフィル誘導体の新奇な物性の開拓	兼任研究員	宮武 智弘
11:20 ～ 11:35	ホウ素中性子捕捉療法を指向したペプチドによる窒化ホウ素の細胞送達システムの開発	兼任研究員	富崎 欣也
11:35 ～ 11:50	光応答性分子を用いた微結晶フィルムの光可逆的光沢色変化	兼任研究員	内田 欣吾
11:50 ～ 13:15	休憩（昼食）		
	招待講演 （ 座長 小寺 康博 ）		
13:15 ～ 14:05	情報と計測の融合による半導体デバイス3次元実装技術の革新	熊本大学 准教授	橋新 剛
14:05 ～ 14:15	休憩		
	一般講演 （ 座長 森 正和 ）		
14:15 ～ 14:30	溶液法（SBD）一スピンコート法によって作製した薄膜におけるナノ粒子形態が光学特性に与える影響	兼任研究員	ヘルナンデス ホセ
14:30 ～ 14:45	透光性多結晶アルミナ緻密体の作製とその応用	兼任研究員	小寺 康博
14:45 ～ 15:00	積層不規則構造SiCを主成分としたSi系負極活物質を持つリチウムイオン電池	兼任研究員	大柳 満之
15:00 ～ 15:15	サイト間移動に由来する Communal エントロピーに基づくLaNi <sub>5</sub> H <sub>6</sub> の水素凍結温度の熱力学的解析	兼任研究員	清水 吉大
15:15 ～ 15:30	スイッチングモードGaNパワーアンプに関する基礎検討	兼任研究員	石崎 俊雄
15:30 ～ 15:40	休憩		
	一般講演 （ 座長 小寺 康博 ）		
15:40 ～ 15:55	エアロゾルデポジション法を用いた製膜および構造体の形成	兼任研究員	森 正和
15:55 ～ 16:10	三次元網状繊維構造体マットレス上の寝姿勢時の身体負荷解析	兼任研究員	田原 大輔
16:10 ～ 16:25	気相法によるアモルファス炭素薄膜の合成とその応用	兼任研究員	青井 芳史
16:25 ～ 16:40	セルロースナノファイバー（CNF）の配管延命への利用	兼任研究員	奥田 哲士
16:40 ～ 16:55	屈折率1.83を示すカルド型ビスフェノール炭化水素核の新開発	兼任研究員	岩澤 哲郎
16:55 ～ 17:00	閉会の挨拶	革新的材料・プロセス研究センター 副センター長	青井 芳史
17:00 ～ 18:00	ポスター発表（詳細は次頁）		

## <ポスター発表>

P1	シッフ塩基をスペーサーとしたクロロフィル二量体の分光学的特性	○妹背 帆高, 宮武 智弘
P2	スピロピランを有するクロロフィル誘導体の合成と物性	○石田 夏路, 宮武 智弘
P3	液相析出法による金属酸化物薄膜の合成とその応用	○永田 佳大, ヘルナンデス ホセ, 青井 芳史
P4	アモルファス炭素薄膜の合成とその構造評価	○長島 捷悟, 田畑 優輝人, ヘルナンデス ホセ, 青井 芳史
P5	石崎研究室研究紹介（マイクロ波通信デバイス）	○石崎 俊雄
P6	石崎研究室研究紹介（無線電力伝送システム）	○石崎 俊雄
P7	高じん性を持つジルコニア/アルミナ複合材料	○藤中 志龍, 小柳 優斗, 山中 柊弥, 白井 健士郎, 大柳 満之
P8	Si系新規負極活物質を用いたリチウムイオン電池	○中西 健人, 武田 和也, 猪熊 裕太, 白井 健士郎, 大柳 満之
P9	消化器外科用PVA模擬脂肪材料の鉗子持ち上げ時の力学的特性評価　－質量・膜の影響－	○大石 将, 岡野 仁夫(ウェトラブ株式会社), 田原 大輔
P10	高ヒール靴着用時歩行の筋骨格モデルの開発	○安福 朋矢, 田原 大輔
P11	ニューロモフィックシステムのための薄膜デバイスの研究開発 その1	○青山 文二, ○中村 凌成, ○田丸 敦也, ○山本 啓太, ○大島 涼, ○岩本 康太, ○大平 涼太, ○高木 悠真
P12	ニューロモフィックシステムのための薄膜デバイスの研究開発 その2	○青山 文二, ○中村 凌成, ○田丸 敦也, ○山本 啓太, ○大島 涼, ○岩本 康太, ○大平 涼太, ○高木 悠真
P13	環境応答性 $\alpha$ -ヘリックスペプチドの二量化が細胞に及ぼす影響	○宮崎 翔大, 富崎 欣也
P14	溶媒駆動型交差二量化によるジベンゾクリセンの高生産性合成と高屈折モノマーへの展開	○岡田 育真, 岩澤 哲郎
P15	光によって硬さを変えるジアリールエテン結晶	○谷 歩武, 内田 欣吾
P16	アミノ酸がウルトラファインバブルの性質に与える影響と、メレンゲ作製との相性について	田中 陽菜, 花崎 萌香, ○山崎 正幸
P17	極性溶媒中でのシンジオタクチックPMMAとの包接錯体形成によるゲスト分子の可溶化	○西村 幸亮, 河内 岳大
P18	キラル溶媒共存下で種々のゲスト分子を用いて作製したシンジオタクチックPMMA包接錯体ゲルの円二色性測定	○山本 龍之介, 河内 岳大
P19	両面複動式摩擦攪拌点接合条件がA6061アルミニウム合金の微細組織に及ぼす影響	○田中 駿佑, 森 正和, 森貞 好昭(阪大接合研), 藤井 英俊(阪大接合研)
P20	生分解性ポリマーからのメタン回収　～食品残渣の資源化の促進のために～	○福井 陽斗, 奥田 哲士
P21	Nb <sub>2</sub> O <sub>5</sub> を原料に含むペロブスカイト型ハイエントロピー酸化物がMgの水素化反応に与える触媒効果	○佐野 斗哉, 佐藤 良亮, 大柳 満之, 清水 吉大
P22	$\alpha$ -Ni(OH) <sub>2</sub> ナノ粒子の形態がスピコート法で作製した薄膜の光学特性に与える影響	○佐野 里華, ヘルナンデス ホセ, 青井 芳史
P23	エッチング法を用いた微小アルミナ粉体の作製	○三木 悠生, 村松 拓実, 沖中 将, 岩本 晴生, 小寺 康博